

事業所名

キッズステーションあいの（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		ほのぼのとしあわせになろうのんびりとくじけるなまけるな 「共感・共鳴」「共輪・共生」「共和・共同」「共育・共助」					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、保育園等、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う ・「子どもの特性」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく ・集団療育と個別療育を明確化し、個々の成長に合わせた特色ある支援を提供する 					
営業時間		8 時	30 分から	13 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・到着時の心身の把握（体温測定・気分把握）を行います ・日常生活に必要な基本的スキルを身につける支援を行います 				<ul style="list-style-type: none"> ・利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（例：医療機関への受診、保護者への状況の報告連絡）を行います 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職（理学療法士・作業療法士など）が一人一人の子どもの適切に評価し、活動の提供（バランス感覚・ボディイメージ・姿勢の保持や各種の運動・動作訓練など）を行います ・保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日付の確認や1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成を行います ・一人一人の認知の特性を理解し、こだわりなど生活上の困難を減らす手助けを行います 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容を行います ・専門職（言語聴覚士）が一人一人の子どもの適切に評価し、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等の活動の提供を行います 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールの理解が必要な遊びや小集団活動を行いお友達との関わりを楽しみます ・見立て遊びやごっこ遊びを通してお友達との関わり方を学びます 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの相談に対する適切な助言やアタッチメント形成（愛着行動）等への支援 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・同法人内の他事業所との情報共有・連携及び相談支援
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが通う保育園・こども園や相談支援事業所との連携 ・個別支援会議への参加 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修（虐待防止・接遇マナー・介護技術など） ・QCサークル活動（小集団改善活動） ・県立こども医療福祉センターによる職員派遣及び研修会参加
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの行事（運動会・もちつき） 					